

岩手県立大野高等学校

PTA 会 報

大野高校PTA事務局

人数では測れない学校の価値

PTA会長 太内田 賢



本校は、決して大きな学校ではありません。少子化という現実の中で、地域の小学生・中学生の人数が年々減少していることは、誰の目にも明らかです。学校を取り巻く環境が厳しさを増していることを、私たち大人は静かに受け止める必要があります。

しかし私は、人数の多さだけで学校の価値が決まるとは思っていません。少人数だからこそ、生徒一人一人の顔が見え名前が自然と口をついて出る。行事や日常の中で、学年や立場を越えて関わり合う時間があり、人と人との距離の近さの中で育まれ

る学びがあります。そうした経験は数字では測れない大切なものです。

私自身、この学び舎を卒業しましたが、当時は特別な環境だとは意識していませんでした。社会に出てから振り返ると、ここで過ごした時間が、人との向き合い方や物事の受け止め方の土台になっていたことに気づかされました。

また、この学校が今日までの歩みを重ねてこられた背景には、PTA活動に理解を示してくださる地域の皆様、学校運営と生徒数確保に向けて多大な支援を続けて下さっている洋野町の存在がありま

す。多くの目と手に支えられながら学校の時間が紡がれていることを、改めて感じています。

今年この学び舎を巣立つ卒業生、そして今ここで学んでいる在校生の皆さんにとって、今の日常はやがてかけがえのない記憶になります。学校の形は時代とともに変わることもあるかもしれませんが、ここで培われた経験や人とのつながりはそれぞれの中に確かに残り続けます。

この学び舎が持つ価値を、これからも多くの人と分かち合いながら、次の時間へとつないでいければと思います。

PTA活動紹介

～大野高祭2025～



PTAでは今年も生徒たちが収穫した松茸と舞茸を使って、大野高祭で松茸と舞茸のおにぎりと舞茸入りの豚汁を生徒と職員に振る舞いました。前日の仕込みから、延べ19名の保護者が参加しました。みなさんで調理を分担し、声を掛け合いながら、にぎやかにそしてきびきびと大変な作業をしていただきました。当日の調理では、松茸ごはんが足りない分を急遽松茸風味ご飯を炊いて補うなど、アイデアを出し合いながら人数分のおにぎりと豚汁をつくりあげました。お昼には階段下に配付場所を設置しておにぎりと豚汁の鍋を並べ、生徒一人ひとりに声をかけながら手渡ししました。生徒たちも笑顔で受け取り、豚汁をおかわりに来る生徒も何人もいて、今年もPTAのお振る舞いは大好評でした。

地域校



校長 千葉美春

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に対しまして、ご理解、ご協力、ご支援をいただいておりますことに、心より深く感謝申し上げます。

今年度も、保護者の皆様には、登校指導や大野高祭でのおにぎり作り・豚汁作りなど、様々な場面でご協力をいただき本当にありがとうございました。

さて、岩手県教育委員会が発表した第3期高等学校再編計画において、「地域校」という新たな言葉が発出され、大野高校も該当し、県内10校あるうちの1校にあたります。「地域校」とは、『1学年1学級校の存在が、高校を核とした

地方創生の推進に大きな役割を果たしている地域において、所在する自治体と連携することで教育活動の充実が図られている場合、1学年1学級校の普通高校を地域校とする』と説明されています。大野高校では、以前から他校では行っていない『工芸の授業』や『里山整備』、『久慈平荘との合同避難訓練』などを行うことで、洋野町（特に大野地区）と連携し教育活動の充実が図られてきていますし、最近では、『ひろの商人まつり』や『おおのまちなかフェスタ』、『おおの夢あかり』などの様々な催しにも参加させていただき地方創生の推進の

一役を担わせていただいています。まさしく「地域校」です。それもこれも洋野町や地域の皆様方、そして保護者の皆様の協力によって成り立っており、改めて心より感謝申し上げます。

大野高校の現状が厳しいことには変わりはありませんが、今後とも、保護者や地域の皆様方のお力をお借りしながら、生徒とともにこれからの大野高校の在り方を再考し、これまで以上の様々な魅力の発信にも努めて参りたいと考えておりますので、引き続き、ご理解ご協力をよろしく願いたします。

大野高祭 2025





灰玉平 綾乃

高校卒業後、私はMCL盛岡ペットワールド専門学校に進学し、愛玩動物看護師とトリマーの二つの資格取得を目指せるコースで学んでいます。将来は愛玩動物看護師として医療の現場に携わるだけでなく、トリマーとしても動物業界に幅広く活躍することが目標です。

授業では一年目は座学が中心で、動物の体の仕組みや病気、看護の基礎知識などを学び、新しい専門用語や覚えることの多さに大変さを感じていますが、今まで疑問に思っていたことが学びを通して結びついた時に知識が増えていく楽しさを感じています。

専門学校生活は同じ目標を持つ人たちが集まっているため、勉強や不安なことも支え合いながら学んでいける環境があり、一人では乗り越えられないことも前向きに取り組むことができます。小さな成長を大切にしながら一日一日を積み重ねていくことが将来に繋がると思います。在校生の皆さんも、それぞれの目標に向かって歩いていきましょう。そして、今しかない高校生活を思いっきり楽しんでください。



卒業生の声

中村 昇太



私は高校卒業後、航空自衛隊に就職しました。入隊してすぐ、熊谷基地にある教育隊で3ヶ月間自衛官として必要な基礎知識と基本動作を学び、訓練を受けました。教育隊を卒業後は、芦屋基地の第3術科学校に入校し、職種に関する勉強、大型特殊自動車免許の取得など、たくさんの事を学び卒業しました。現在は、青森県にある三沢基地北部航空施設隊第1作業隊という部隊で仕事をしています。教育隊は訓練が大変でしたが、一緒に頑張る仲間のおかげで最後までやりきる事ができました。

部隊に赴任し、初めは何も分からず先輩方についていくだけで精一杯でした。今では、優しい先輩方のご指導もあり、仕事に必要な知識を身につけ機材を動かす事もできるようになり、徐々に仕事にも慣れ、職場の一員として仕事をできるようになってきました。

今は、冬季の除雪作業にむけて除雪機材の操作や飛行場の場所を覚え、除雪を想定した訓練を行い事故なく終えられるように日々頑張っています。

在校生のみなさん、社会人となって最初は何もかもが初めての事ばかりでとても大変な思いををすると思います。そこで挫折することなく頑張ること次第で次にくる試練を乗り越えることができます。本当に限界がきたら誰でもいいので相談する事をおすすめします。残りの高校生活を思いっきり楽しんでください。

令和7年度 第3学年進路決定状況

令和8年2月11日現在

◆ 進学合格状況

	大 学	短 大	専門学校	合 計
進 学 希 望 者 数	7	0	9	16
合 格 者 数	5	0	8	13

【進学合格先】

《大 学》 岩手県立大学 ソフトウェア情報学部 盛岡大学 栄養科学部
八戸工業大学 工学部 八戸学院大学 健康医療学部 八戸学院大学 地域経営学部

《専門学校》 岩手県立農業大学校 農産園芸学科
菅原学園仙台総合ペット専門学校 トリマー科
北日本ハイテクニカルクッキングカレッジ 高度調理科2名、調理科1名
MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校 介護福祉学科
八戸理容美容専門学校 美容科
三幸学園仙台ビューティーアート専門学校 トータルビューティー科

◆ 就職内定状況

	管 内	県 内	県 外	合 計
就 職 希 望 者 数	4	0	3	7
内 定 者 数	4	0	3	7

【就職内定先】

《管 内》 洋野町役場 (株)ファーマ・ラボ
(一社)大野ふるさと公社 一沢コンクリート工業(株)
《県 外》 八戸東洋(株) 福島建材(株) INSOU東日本(株)



これからの行事

一般選抜学力検査	3月4日(水)
合格発表	3月16日(月)
終業式・離任式	3月23日(月)
学年末休業	3月24日(火)～3月31日(火)

PTA会員の声

坂本 隆行 (1・3年 慧・蓮)

初めてPTA有志としてカレー屋さんを出店しました。最初は準備とか大変なのかと思いましたが意外とスムーズに行うことができ、とても高評価を頂きました。これもひとえに皆様のご協力のおかげです。ありがとうございました。3年生は高校生活もあと少しですね。先生方や親、仲間感謝しながら残りの時間を大切に過ごして欲しいと思います。



坂下佳奈子 (2年 寧々)

大野高校の生徒の人数も少なくなってきて行事なども、内容など昔と変わっている中で、生徒達の一人ひとり一生懸命に取り組んでがんばっている姿、成長していく姿を見る事ができ、とてもうれしく思います。
高校3年間、一日一日を大切に過ごして自分の夢に向かって、がんばって下さい。あと、友達とも、先生方とも大切な思い出をたくさん作ってください。



附柳 梨佳 (3年 あかね)

娘が入学して、初めて文化祭に行きました。各学年とも、模擬店等をとても楽しそうに行っていて、見ていて嬉しく思いました。吹奏楽部の演奏も素晴らしく聴き入ってしまいました。生徒と先生のバンドも、とても盛り上がり楽しかったです。大野高校は、生徒数も少ないですが、先生と生徒の連携がとれており、とても良い学校だと思っています。このまま存続してくれることを願ってます。
3年間、大変お世話になりました。

